



各務原市政記者クラブ同時配布資料

平成29年12月11日(月) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
新産業・エネルギー 振興課	成長産業係	鎌倉 光利 丹羽 厚至	内線 3111 直通 058-272-8835 FAX 058-278-2653
各務原市 産業活力部	産業政策室	和田 真由美	直通 058-383-1697
(株) ブイ・アール・テクノセンター 企画本部		横山 考弘	TEL 058-379-2235

エスアイ

岐阜県ロボットS Iセンター研修室の開所について

県では、岐阜県成長・雇用戦略において「航空宇宙」「医療福祉機器」「医薬品」「食料品」「次世代エネルギー」を成長分野と位置付け、重点的に企業集積並びに規模拡大に取り組んでいます。

このたび、県、各務原市、株式会社ブイ・アール・テクノセンター(※1)が連携し、中小製造現場、特に「医薬品」、「食料品」企業の人手不足対策として期待されている最新の軽作業ロボットの活用を促進するため、県のモノづくり支援拠点であるテクノプラザ(※2)に、ロボット導入技術者(Robot System Integrator(通称:ロボット^{エスアイヤー}S I e r))及び、導入側企業の人材を育成・指導するための研修環境「岐阜県ロボットS Iセンター研修室」を整備しました。

つきましては、下記のとおり開所式及び内覧会を行いますので、お知らせします。

なお、同研修室での研修事業は平成30年4月開始する予定です(有料)。

記

1 開所式・内覧会について

(1) 内覧会

- ・日時 平成29年12月15日(金) 13:30~14:00
- ・場所 岐阜県成長産業人材育成センター 2階 202研修室1
(岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目21番地 アネックス・テクノ2内)

(2) 開所式

- ・日時 平成29年12月15日(金) 14:00~16:00
- ・場所 岐阜県成長産業人材育成センター 3階 301多目的研修室1
(岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目21番地 アネックス・テクノ2内)
- ・概要

14:00~14:10 あいさつ

株式会社ブイ・アール・テクノセンター

代表取締役社長 せら なおみ 世良 直己 氏

14:10~16:00 講演

○第四次産業革命スマートファクトリーについて

経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室

技術総括係長 こばやし ひろし 小林 寛 氏

○岐阜県ロボットS Iセンターについて
株式会社ブイ・アール・テクノセンター

取締役企画本部長

よこやま たかひろ
横山 考弘 氏

○株式会社深見製作所の取組みと今後について

株式会社深見製作所 代表取締役

ふかみ まさし
深見 昌司 氏

(3) 出席者

- ・関係企業
 - ・中部経済産業局地域経済部長
 - ・各務原市産業活力部次長
 - ・県商工労働部次長、関係課長
- ※ 約120名出席予定

※ 取材いただける場合は、事前に下記担当者へ連絡をお願いいたします。

- ・(株) ブイ・アール・テクノセンター 横山 (TEL: 058-379-2235)

2 岐阜県ロボットS Iセンターについて

中小製造業における製造現場での軽作業（組立、検査、梱包、搬送等）の工程にロボットを導入するためには、「ロボットアーム」と呼ばれるロボット本体の機能を熟知するとともに、ロボットを導入した全作業工程を管理するための総合生産稼働状況管理システムやI o Tデバイスに関する専門知識・技術が必要となります。こうした知識等を有する技術者を「Robot System Integrator（通称：ロボットS I e r）」と呼びます。

また、ロボット導入を適切かつ円滑に進めるためには、導入側企業にも、一定の知識を有した人材を育成する必要があります。

岐阜県ロボットS Iセンターでは、ロボットS I e r及び導入側企業の人材を育成するため、ロボット実機を用いた実践的な研修を実施します。さらに、中小企業からの相談や技術指導、ロボットメーカーとのマッチングの相談にも応じます。

(1) 場 所

株式会社ブイ・アール・テクノセンター内

（岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目1番地 テクノプラザ本館1階）

[同センター研修室]

岐阜県成長産業人材育成センター 2階 202研修室1

（岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目21番地 アネックス・テクノ2内）

(2) 設置・運営

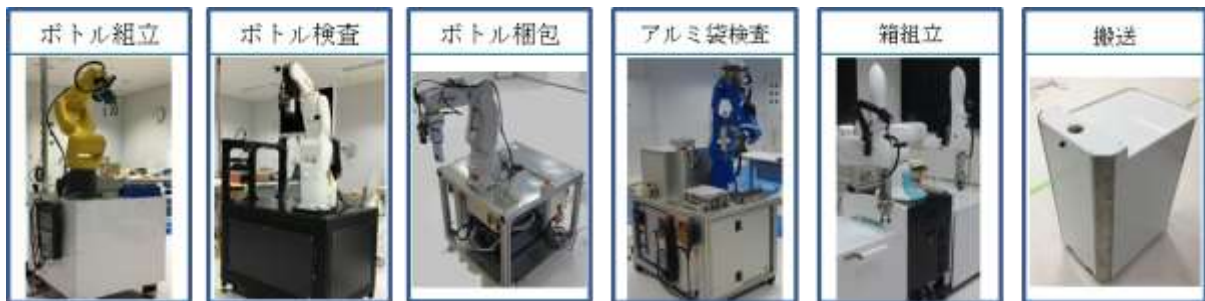
株式会社ブイ・アール・テクノセンター

(3) 支援・協力

岐阜県、各務原市



岐阜県ロボットS Iセンター研修室
 (岐阜県成長産業人材育成センター 2階 202研修室1)



研修室に整備した軽作業ロボット等実機 (6機)

(4) アクセス

- ・住所 岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目21番地 アネックス・テクノ2
- ※ お車でお越しの際は、専用駐車場または予備駐車場をご利用ください



岐阜県ロボットS Iセンター整備の経緯

- ・モノづくり中小企業は深刻な人手不足に陥っているが、これまで、現場作業員等による梱包、検査等の軽作業を代替できる安価な産業用ロボットがなかった。そのため、軽作業中心の中小企業では解決策が見出せないままとなっていた。こうしたなか、近年、安価で小型の軽作業ロボットが複数の国産メーカー等から販売されるようになり、人手不足解決の糸口が見えてきた。
- ・しかしながら、導入のためのロボットS I e r が全国的に不足しているため、経済産業省では、システムインテグレータ育成に対する補助金（※3）による人材育成に力を入れ始めた。
- ・これまでもロボット導入支援を手掛けてきた株式会社ブイ・アール・テクノセンターでは、県内にも不足しているロボットS I e r の育成を図るため、同省の補助金を活用して研修環境を整備し、平成30年度より研修事業等を実施する予定である。
- ・県では、「岐阜県成長・雇用戦略」に基づき、成長分野をはじめとする産業人材の育成強化を図るため、平成28年11月に「岐阜県成長産業人材育成センター」をテクノプラザに開所した。中小製造業が集積する本県においては、食料品、医薬品等の成長分野をはじめ、軽作業を中心とする製造業が多数存在していることから、株式会社ブイ・アール・テクノセンター及び各務原市と連携して、同センター内にロボットS I e r 育成のための研修室を整備した。

(※1) 株式会社ブイ・アール・テクノセンター

県、各務原市等が出資する第3セクター。VR・ロボット・ITなどの技術を用いた産業の高度化を目指し、製品企画開発、産学官共同研究を実施しているほか、航空宇宙産業高度技術者支援事業、CAD研修事業などの人材育成事業も実施している。

(※2) テクノプラザ

ITとモノづくりの融合による産業の高度化・情報化及び新産業の創出を目指す「21世紀型モノづくりの拠点」として、平成10年に岐阜県が整備。航空宇宙・医療福祉機器などの成長産業を支援する機関、幅広く産業人材を育成するための施設、研究開発型中小企業のための入居スペース、産学官連携の研究開発を推進するための開放研究室、貸し会議室・ホール、中小製造業向けの貸し工場、ITに関する県の試験研究機関などが集積しているほか、研究開発型企业や製造業が進出する工業団地も擁する複合的な拠点。

(※3) システムインテグレータ育成に対する補助金

経済産業省平成28年度補正予算事業「ロボット導入促進のためのシステムインテグレータ育成事業」